プレスリリース

米独立系インフラ投資会社アイスクエアドキャピタル、東京オフィスを開設

APAC 地域において 10 年超で累計 90 億ドル超の投資実績
日本市場へのコミットメントを一層強化
鈴木剛が東京オフィスのプリンシパルに就任

【東京・マイアミ、2026 年 10 月 15 日】米国の独立系インフラ投資会社であるアイスクエアドキャピタル（I Squared Capital / 以下、当社）は本日、東京オフィスを開設しましたのでお知らせいたします。運用資産総額は約 9 兆円（600 億ドル）、アジア太平洋地域で最も重要なインフラ市場の一つである日本において事業基盤の強化を図ります。

東京拠点設立は、当社の日本に対する長期的なコミットメントを示しています。現在日本では、重要なインフラに対する投資ニーズとエネルギー・デジタル分野におけるトランスフォーメーションの進展を受けて、プライベート・キャピタルと専門知識に対する需要が高まっています。東京における恒久的な現地拠点を基盤に、地域全体にわたる投資機会の発掘・開拓・拡大に向けた体制を一層強化します。

アイスクエアドキャピタル創業者、会長兼マネージング・パートナーであるサデック・ワバ（Sadek Wahba）は次のように述べています。「日本は、基幹インフラの高度化、エネルギー安全保障の強化、そして将来の成長を支えるデジタル・インフラ構築を進める中で、インフラ投資に対するニーズが本格的に拡大する局面を迎えています。今回の東京オフィス開設は、こうした事業機会をとらえていくことで、グローバル事業基盤を一段と強化するための重要な一歩となります。」

アイスクエアドキャピタルは、これまで 10 年以上にわたり日本市場において事業を展開しております。国内主要機関投資家と LP（リミテッド・パートナー）や共同投資家としての関係を築くとともに、投資先企業を通じて日本国内で投資を行ってきました。その代表例が、当社のアジアの再生可能エネルギー・プラットフォームである HEXA Renewables です。日本ではヘキサ・エネルギーサービス合同会社として蓄電システム（BESS）事業を拡大しており、2024 年に実施された日本の長期脱炭素電源オークション（LTDA）では、11 件の BESS 案件を落札、国内外の事業者を含む全参加企業の中で最大の落札企業となりました。その後、2026 年の公募でもさらに 2 件を落札し、非 LTDA 案件を含めた同社の定格容量は約 3GWh に達しています。

アイスクエアドキャピタル共同創業者、最高投資責任者（CIO）兼マネージング・パートナーであるガウタム・バンダリ（Gautam Bhandari）は次のように述べています。「アジア太平洋地域は、世界で最もアクティブなインフラ市場の一つです。そして、同地域における当社の投資活動の中で、今後日本は一段と重要な役割を担うようになるとみています。とりわけ、エネルギー、デジタル、その他の基幹インフラ分野では大きな投資機会が生まれつつあります。当社が培ってきた事業運営の専門性と、投資先の育成・事業拡大を推進してきた豊富な経験を活かすことで、こうした機会を確実に捉えていくことができると確信しています。」

今回の東京拠点設立に際して、新たに鈴木剛が東京のプリンシパルに任命されました。鈴木はブラックロック傘下のグローバル・インフラストラクチャー・パートナーズ（GIP）、マッコーリー・アセット・マネジメント、UBS といった大手金融機関において 20 年以上のキャリアを有しています。日本における当社の投資家対応業務を担い、日本の機関投資家や事業会社パートナーとの関係構築において中心的な役割を担ってきたマネージング・ディレクター、シャー（渡邉）優子とともに日本拠点を牽引します。

東京オフィスの開設は、当社がアジア太平洋地域において 10 年以上にわたり積み重ねてきた投資実績を基盤とするものです。アジア太平洋地域においては 2014 年に最初の投資を完了して以来、これまでに約 1.4 兆円（90 億ドル）超を投資しており、現在、17 の国・地域において 26 社のポートフォリオ企業を有しています。同地域全体において、当社は各国政府、金融機関、大手企業等と連携し、各国の重要なインフラ整備を支援しています。その一例として、米国国際開発金融公社（DFC）との間で構築した 30 億ドル規模のプラットフォームを通じ、南アジアおよび東南アジア全域でエネルギーインフラの整備を支援しているほか、日本の海外交通・都市開発事業支援機構（JOIN）ともパートナーシップを締結しています。

###

アイスクエアドキャピタル（I Squared Capital）について

アイスクエアドキャピタルは、米国の独立系インフラ投資会社です。運用資産総額は約 9 兆円（600 億ドル）、2012 年の設立以来、多様な投資ポートフォリオを有するグローバル・インフラ投資会社へと成長を遂げました。世界の人々の生活に欠かせない電力・エネルギー、公共事業、運輸・物流、デジタル・環境・社会インフラなどの分野への投資を手掛けています。インフラ分野における新たな潮流をいち早く捉え、成長機会を活かせる優良企業を発掘し、それら企業への投資を通じて事業の拡大・発展を支援してまいりました。本社は米国マイアミ、アブダビ、ロンドン、ミュンヘン、ニューデリー、サンパウロ、シンガポール、シドニー、台北、および東京にオフィスを構えています。詳しくは、www.isquaredcapital.com/japan/ をご覧ください。

Disclosures

This document does not constitute advice or a recommendation or offer to sell or a solicitation to deal in any security or financial product. It is provided for information purposes only. Investing involves risk, loss of principal is possible. Specific investments described herein do not represent all investment decisions made by ISQ. The reader should not assume that investment decisions identified and discussed were or will be profitable. Specific investment advice references provided herein are for illustrative purposes only and are not necessarily representative of investments that will be made in the future.